

どうしてもなくてはならない 日本共産党のこの人を

大震災からの長い日々、福島原発災害に苦しむ方々と同じく、陸前高田市民は、全国的にも最も大きな苦労を重ねてきました。今度の政治戦で選ばれる人は、被災地としての重い責任と仕事をもつこととなります。車で走るだけでなく政策や考えを直接市民の方々に訴えるべきです。日本共産党は、全戸アンケートや地域の対話で困っている声や様々な意見をいただきながら、政策をまとめました。

第一に、病気になっても安心できる身近な病院のことです。県立高田病院を再来年4月に再建し、バスなども利用しやすくいたします。

第二に、税金の負担の問題です。年金が減り介護保険料は上がっています。生活応援のため、市の国保税を1世帯平均2万円引下げを提案します。財源は、国保基金(約4億円)と今年度からの国の支援金を考えています。

第三に、子ども医療費無料化は、市内の市で最初に中学生まで拡大しましたが、窓口負担もなくしたいと思います。

第四に、JR大船渡線の復旧です。JR東日本から鉄路廃止の提案がありましたが、被災地の気持ちをまったく考えない冷たい提案です。鉄路復旧と陸前高田駅の再建で、にぎわいのあるまちづくりをすすめます。

被災地など困難なところで、国民のために活動するのが、日本共産党です。役立つことは、党派をこえて共同し、反対だけではなく対案を示すことを重視しています。

今回の政治戦は、市民のいのちと暮らしをしっかりと守り、誰もが住み続けられるような新しいまちづくり——そのことが問われています。

ぜひとも、あなたの願いを日本共産党の代表に託してください。

市内各地での訴えより

もう一つ
大切なこと

戦争法案は憲法違反。廃案を！

8月30日、12万もの人が国会を包囲しました。憲法違反のこの法案は、80回を超える審議中断などからも、廃案しかありません。被災地として、命と平和、若者を守るため戦争法案は許しません。——市内各地での訴えより——



日本共産党

日本共産党の活動をお知らせします。 2015年9月4日 第329号
日本共産党陸前高田市委員会 ●陸前高田市高田町字西和野24-1 ●電話55-5512

陸前たかた民報